

具体的施策個別事例

様式2

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」
【施策名：(Ⅱ)計画・設計・施工の最適化 建設副産物対策等の推進】

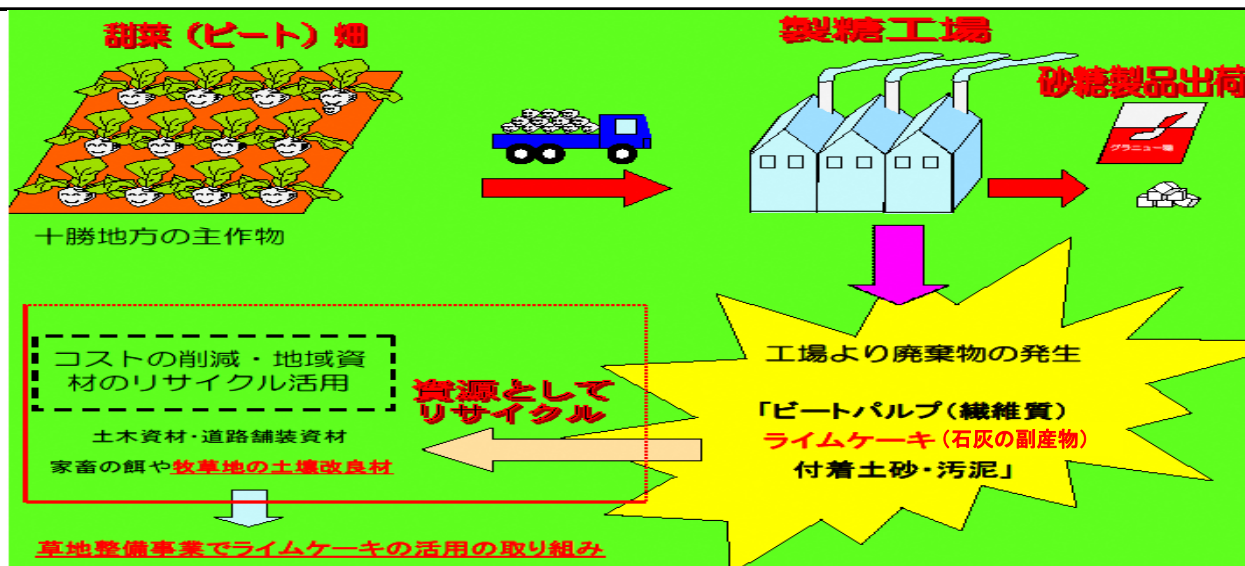
ライムケーキの活用

事業名：草地整備（公共牧場）・畜産担い手（担い手支援）
概要：土壤改良材 炭酸カルシウムによる土壤酸度の矯正→製糖工場から排出される副産物（ライムケーキ）を使用した土壤改良

効果

- * 廃棄物の農地還元・地域資源の循環形成→環境保全対策・持続的農業の推進
- * 目標値を満足する土壤改良効果→事業コストの縮減
- * 資材費の差額

炭酸カルシウム 34,090千円 → ライムケーキ 1,290千円（改善額 32,800千円、縮減率96%）



「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」
【施策名：（Ⅱ）計画・設計・施工の最適化 【1】計画・設計の最適化 ②設計方法の最適化】

吹付法枠に関する緑化工法、枠スパンの最適化

工事名：海中公園地先 復旧治山工事
概要：他工事で発生した森林表土を利用することで、在来種による緑化が図られた。併せて枠スパンの最適化を行い、コストを縮減することができた。

- 効果
- 一般的に外来種子による緑化が採用されているが、この工法は近隣の森林表土を使用することで、在来種子による緑化となり、国立公園内の種の保存が図られた。
 - 近隣で発生した森林表土を有効に利用することができた。
 - この工法と注入マットを併用することで、従来の枠スパン(1.2m)に対し、枠スパンが拡大(1.5m)となり、梁延長が縮減でき、施工コストを100,484千円から85,372千円に縮減することができた。
(縮減額15,112千円・縮減率 約15%)



宗谷総合振興局産業振興部林務課

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：(Ⅱ)計画・設計・施工の最適化

【4】民間技術の積極的な活用】

河川改修工事(樋門工)における「MITSI工法」の採用

工事名：剣淵川改修工事剣淵川地区(補正)(繰越)

概要：樋門工の軟弱地盤改良において、従来利用されていた面的な地盤改良ではなく、点的な改良が可能な「MITSI工法」を採用

効果

○従来工法では面的な地盤改良を実施していたが、MITSI工法を採用することにより、点的な改良が可能となり、材料費及び発生土量を削減しコスト削減を図った。

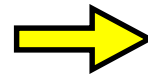
□従来工法 13.7百万円 MITSI工法 10.7百万円
(縮減額 3百万円 縮減率22%)



改良材混合プラント



施工状況



MITSI工法 完了



改良体

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」
【施策名：（Ⅱ）計画・設計・施工の最適化 【4】 民間技術の積極的な活用 】

道路工事の切土法面に「チップバック植生工法」を採用

工事名：上幌内早来(停)線交付金444(改築)工事外(4・5・6区間)
概要：道路工事の切土法面の植生工において、一般的な植生基材吹付工法ではなく、
現地発生土や伐根物等を破碎したチップを混入したチップバック植生工法を採用。

効果
○現地で発生する土砂や伐根物を植生基材として利用出来るため、材料費及び伐根物の処分費が削減でき、低コスト化を図ることが可能となった。
■植生基材吹付工法 **26百万円** チップバック植生工法 **18百万円**
(縮減額 **8百万円**、縮減率**31%**)

